

## 令和元年度盛岡地区かわまちづくり（舟運）事業実績

## ○社会実験（5月～9月までフェスタも含めて計5回実施）

## ● 1回目

日 時： 令和元年5月18日（土） 10:00～14:30

場 所： 北上川旭橋上流～明治橋上流

参加者： 盛岡地区かわまちづくり（舟運）実行委員会関係者 30名（舟っこの会，国，市）

目 的： 昨年度実施していない不來方橋より下流区間での運航を，ダムからの水量補給の協力を得て，明治橋上流までの運航を実施する。

内 容： 舟運実現に向けた社会実験

## 1) 航路としての安全性の確認

⇒ダムからの水量補給により，旭橋上流～明治橋上流区間の運航は概ね安全に実施されたが，不來方橋下流など一部箇所において船外機のプロペラが接触した。  
⇒今回初めて，明治橋上流まで運航したが，三川合流部下流の水位は，雫石川の水量も関係することが確認された。

## 2) コースの選定

⇒概ね，露岩を避けたルートを選定できた。

## 3) 舟の安全性及び航行性の確認

⇒船外機のエンジンを切って竹竿での操作を試みたが難しく，船外機での操縦とする。

## 4) 新たな魅力となる資源を探す。

⇒川の風の気持ちよさ，船上から見る岩手山の景色，川から見る街なみ



仮棧橋による乗船



材木町石積護岸前の運航状況



開運橋付近の運航状況



明治橋上流左岸の降船状況



● 2回目（第3回「北上川フェスタ IN MORIOKA」）

日 時： 令和元年6月15日(土)  
午前10時から午後3時

場 所： 北上川旭橋上流右岸，開運橋付近，鉦屋町  
・大慈寺地区

主 催： 盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会

目的等： このイベントは，広く市民等が川や水辺に親しむことにより，かつて盛んだった北上川の舟運文化を理解していただき，地域の活性化と観光振興につなげることを目的とし，中心市街地を流れる北上川において，「北上川に舟っこを運航する盛岡の会」が製作した木造船「もりおか丸」の運航とゴムボート体験学習周遊等のイベントを開催しました。

当日は，あいにくの小雨の天候で，例年に比べ参加者数も若干少なかったですが，市民や報道関係者の方々に参加され大いに賑わいのあるイベントとなりました。

今回は，舟運の本格運航に向けた実証実験として，「もりおか丸」の運航は有料とした取り組みとしました。

- 内 容： 1) 「もりおか丸」運航（北上川旭橋上流右岸出発）午前10時から午後2時まで5回運航
- ・乗船者：50名（関係者10名，一般37名，報道等3名）
  - ・一般乗船者からは，料金1,000円を徴収（前売）
  - ・ルート：「もりおか丸」旭橋上流右岸乗船 ⇒ 明治橋上流左岸降船 ⇒ 御蔵 ⇒ もりおか町家物語館（特典の和グルミソフトクリーム又は地ビール，地酒）
- 2) ゴムボート体験学習周遊（開運橋付近：無料）午前11時～午後3時
- ・参加者：31名
- 3) 関連イベント
- ・パネル展示：かわまちづくり等に関するパネルを北上川旭橋上流右岸，もりおか町家物語館にて展示。
  - ・乗馬体験：河川敷を活用した新たな取り組みとして，北上川旭橋上流右岸で乗馬体験（1回500円）を実施。

- ・ビアパーティー：もりおか丸運航ルートの終点である、もりおか町家物語館で開催。

4) その他

- ・有料での運航のため、明治橋上流左岸の降船場には、通路整地及びマット設置、誘導ロープ柵等を設置し、国土交通省の協力のもと安全対策を講じた。

参加者アンケート結果：

- ・参加者の満足度はとても高く、その主な理由として、非日常的な体験が出来たこと、川から見る街並の景色のすばらしさとの意見であった。
- ・今回の料金設定（1,000円）については、約85%の方が妥当との判断をしているが、舟着場等の整備後の定期運航の際は、1,500円くらいが妥当との結果であった。
- ・その他の意見として、事業の継続や定期便の運航を期待するものや、食事とのセット運航の提案等があったが、船底が露岩に接触したことに対し水量の問題を指摘するものもあった。



第一便発の状況



第一便発の状況



降船の状況



ゴムボート無料体験周遊の状況



パネル展示の状況（鉾屋町）



乗馬体験の状況（旭橋上流）



ビアパーティーの状況（鉾屋町）



● 3回目

日 時： 令和元年7月20日（土） 10：00～14：00

場 所： 北上川旭橋上流～明治橋上流

参加者： 盛岡地区かわまちづくり（舟運）実行委員会関係者 12名（舟っこの会，国，市）

目 的： 盛岡市の伝統行事「舟っこ流し」でのデモンストレーション運航に向けた試験運航及び運航時の危険箇所目印としてゴムボールで表示を設置する。

内 容： 8月16日（金）に予定している「舟っこ流し」での体験運航の試行及び舟っこ流し協賛会との現地打合せ。

⇒ 前回同様，ダムからの水量補給により，安全な試験運航であったが，当日は，明治橋上流左岸が発着となることから，水面と陸地の高低差による乗降箇所の安全対策が課題となった。又，ゴムボールで目印を試みたが重しが軽かったため流されてしまった。



● 4回目

日 時： 令和元年8月17日（土） 12：00～16：00

場 所： 北上川旭橋上流～明治橋上流

参加者： 一般乗船者 18名

盛岡地区かわまちづくり（舟運）実行委員会関係者 13名（舟っこの会，国，市）

目 的： 集客が見込まれる「舟っこ流し」開催日での舟運 PR を実施する。

内 容： 台風のため1日順延し開催された「舟っこ流し」の前段で「もりおか丸」による体験運航を実施した。

今回は，灯笼購入者限定にしたため，乗船者が少なかったが，舟っこ流しの観覧に来た方へ良い PR となった。次年度は対象者及び周知方法について検討が必要。



明治橋上流左岸付近の乗降箇所



明治橋上流左岸付近の乗降箇所



乗船受付箇所の状況



乗船状況

● 5回目

日時： 令和元年9月21日(土) 10:00~12:00

場所： 北上川旭橋上流~不来方橋上流

参加者： 盛岡市立杜陵小学校5年生(16名), 担任の先生, 父兄乗船者

盛岡地区かわまちづくり(舟運)実行委員会関係者 16名(舟っこの会, 国, 市)

目的： これまでは, 大人中心にPRを行ってきたが, 次世代を担う子供達にも興味, 理解をもってもらうことを目的に実施する。

内容： 杜陵小学校からの申し入れで, 舟運体験学習会として開催した。

前日は学校にて舟運の歴史や, 舟運復活への取組み等に関する授業を行い, 翌21日に北上川において, 木造船「もりおか丸」にて体験周遊を実施した。舟っこの会では, 今後, 北上川沿川の小学校を対象に同様の活動を広めたいとの意向です。

**もりおかわまち舟運・社会実験 河川流況(令和元年9月21日)**

今回の社会実験では, 四十四田ダムからの放流のため, 運航区間は夕顔瀬橋~不来方橋とした。

● 四十四田ダムからの放流量

8:00	14.6(m <sup>3</sup> /s)	→	増量開始
8:30	22.5	↑	
8:50	36	↑	増量終了
9:00	45	↑	
10:00	45	→	
~ 12:00まで, 45(m <sup>3</sup> /s)を放流			

▲ 館坂橋の水位

8:00	-0.02(m)	
9:00	-0.02	9:30頃から水位上昇
10:00	0.24	10:30頃に0.37mで水位維持
11:00	0.37	
~ 13:00まで, 0.38(m)		
14:00	0.06	

■ 御所ダムからの放流量 10.5(m<sup>3</sup>/s)で一定放流

【参考】明治橋まで運航可能な場合の目安

◆ R元.6.15の実績
放流量=(四)+(御)=52+15=67(≒70m <sup>3</sup> /s<目標)
明治橋水位(放流前)-2.12m →(放流後)-1.94m
◆ 今回(R元.9.21)
放流量=(四)+(御)=45+10=55m <sup>3</sup> /s
明治橋水位(放流前)-2.23m →(放流後)-1.97m

明治橋に行けたかも?



9:30頃の旭橋上流 四十四田からの放流はまだ来ていない



10:30頃の旭橋上流 四十四田からの放流が届いた(到達時間は1時間30分)



雫石川の水量（御所ダム）を見て、明治橋上流右岸までの運航を取り止めたことから、今後の課題となった。

## ○その他

航行上危険な露岩の位置把握のため、令和元年 11 月 9 日(土)に支障物測量調査を実施した。

## ○次年度の事業予定（舟っこの会（案））

- ・北上川沿川の小学校を対象にした「舟運体験学習」を開催。（5月，7月，9月予定）
- ・第4回北上川フェスタ IN MORIOKA の開催（6月20日予定）
- ・舟っこ流しとの連携（8月16日予定）
- ・材木町よ市との連携による材木町石積護岸からの乗船体験（検討中）